

地域ネットワークニュース

～平成22年10月の勉強会のお知らせ & 9月の勉強会報告～

第156回地域ネットワーク勉強会

本人・家族のための 統合失調症 ビデオ勉強会

10月12日(火)
午後7時～午後9時
神栖市保健・福祉会館内にて
参加費無料

統合失調症になっても、適切な治療を受け、継続的に服薬し、地域の社会資源を活用することで自分らしく社会の中で生きていくことができます。そのためには本人だけではなく、家族の病気に対する理解や協力が必要になります。

今回上映するビデオは、本人や家族の体験談、家族の役割、地域で暮らしていく上で活用できる社会資源などを勉強できる内容となっています。

当事者の方に限らず、関係機関、関心のある方のご参加をお待ちしています。

PART1 正しく理解し、回復を目指そう～統合失調症の症状と治療～



統合失調症は、適切な治療やりハピリを行うことにより、自分らしく社会生活をおくることが可能な精神疾患です。ご本人やご家族が統合失調症のことを理解できるように、病気の症状や治療についてわかりやすく解説します。

PART2 薬の作用と上手なつきあい方～統合失調症の薬物治療～

統合失調症の治療では薬物療法が重要となります。また、再発を防ぐためにも服薬が必要です。薬にどのような効果があるのか、またどういう副作用があるのかを知り、薬とのつきあい方を理解しましょう。

PART3 この街で自分らしく生きる～社会資源の活用と家族の役割～

統合失調症になっても適切な治療を受け、地域の社会資源を活用することで、自分らしく社会の中で生きていくことができるようになります。地域で暮らしていく上で活用できる社会資源や家族の役割などについて学びましょう。

お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 まちづくりグループ 三浦

第155回地域ネットワーク勉強会報告 平成22年9月28日開催<参加者19名>

障害者への支援活動と権利擁護 -行政(銚田市)の 取り組み事例より-

【銚田市社会福祉課 佐藤央庸氏(保健師)】



今回は地域に暮らす障害者やその家族への訪問活動、相談対応などの支援活動から見てきた具体的事例を中心に、判断能力の不十分な障害者の権利を擁護する行政の取り組みについてお話をしました。

事例紹介されたケースは、障害年金の搾取があり、金銭的虐待として介入したケース、精神疾患の疑いがあるが受診に繋がらず、住民への迷惑行為があり対応に苦慮したケース、認知症の母親と精神障害を抱える子(介護者)への生活問題への介入など、実際の現場で対応したケースを率直に伝えてくださいました。これらのケースの課題解決に向けては、警察や包括支援センターとの連携、施設や病院への措置、日常生活自立支援事業や市長による成年後見制度の申立など、あらゆる制度や資源の活用がされていました。

複雑に絡み合う生活課題を解きほぐし権利を擁護する手だては、一人、一つの機関ではできずに限界があること、既存の制度をフルに活用するためにそれぞれが役割の中で実践していくこと、そして関わる支援者間のチームワークが大切であることを具体的に知ることができました。